

2月3日（金） 4～6年生がアメリカからの留学生のみなさんと交流しました

CIEE 京都プログラムとして来日している留学生 18 名が、アシスタントの滋賀大生 8 名といっしょに来校し、4～6年生が交流しました。CIEE（国際教育交換協議会）とは、国際交流プログラムを開発・運営するアメリカの非営利団体で、滋賀大学が協定を結び留学生を受け入れています。

各学級では、書道や和食などの日本文化を紹介したり、けん玉や折り紙、彦根カロムなど日本の遊びをいっしょに楽しんだり、年明けから準備してきた、工夫を凝らした活動が展開されました。

留学生のみなさんが自己紹介やアメリカのよさを伝えてくださり、子どもたちは目を輝かせながら聞き入りました。日本語を勉強している留学生のみなさんと、英語でやりとりしたい子どもたちが、お互いの思いをわかり合おうと熱心に言葉を交わし、短時間ながら一気に仲良くなりました。

終わりに、遊びでできた物や一緒に作った物が贈られ、留学生のみなさんは、子どもたちの心づくしのプレゼントに感激していました。子どもたちは「日本語が上手でびっくりした」「日本の遊びを楽しんでもらえた」「一緒に遊べてうれしかった」「英語でもっと話せるようになりたいな」など、笑顔で振り返っていました。

